

【WP用】

# Gulpの導入・制作概要

2019.11.10 by kazuya Takahashiu

◇ XAMMP使用者向けの説明になります。

仮想環境でシンボリックドメインが作れるなら dockerでも何でも大丈夫です。  
事前にこれらは用意しておいてください。

◇ 今テンプレートで自動化していること。

01. ブラウザの自動アップロード

02. [ scss ] ファイル のコンパイル・圧縮処理

03. [ js ] ファイルの圧縮処理

04. 画像ファイルの圧縮処理

◇ こちらWindows機を想定して作っておりますのでMacでの動作は未確認です。(のち改善予定)

◇ **STEP1.** お使いのPCにNode.jsを導入する。

◇ **STEP2.** [ gulp\_install.bat ] ファイル をダブルクリック

◇ **STEP3.** [ gulpfile.js ] の設定

- ・下記画像の19行目箇所 [ 'C:/xampp/htdocs/\*\*\*\*\*/' ] で出力先パスを設定します。  
例えば htdocs 直下に wp-site フォルダ(←wpファイル一式が入っている)があるとすれば 'C:/xampp/htdocs/wp-site/' と記入する。
- ・下記画像の20行目箇所 [ '\*\*\*\*\*' ] でシンボリックドメインの設定をします。  
例: 'site-wp' or 'local-site' .etc...

```
16 //パスを設定設定してください
17 var paths = {
18   'public' : './src/', // 編集先のパス (このままでOK)
19   'dist'   : 'C:/xampp/htdocs/*****/', // 出力先のパス
20   'ip'     : '*****' // ipアドレスまたはシンボリックドメイン
21 }
```

◇ **STEP4.** [ gulp\_run.bat ] ファイル をダブルクリック、で作業開始できます。

- ・事前にXAMMPの Apache と Mysql は起動した上で、かつローカル環境でWPサイトがすでに動く状態で .bat ファイルをダブルクリックしてください。

## ◇ 編集先フォルダでcssファイルを追加・更新する際の注記

出力先フォルダに同期され追加・更新はされます。が、圧縮処理はなされません。

圧縮したい場合、編集先フォルダにある css ファイルの拡張子を [ .scss ] に直してください。

出力先に自動圧縮されます。